

平成27年7月6日
京 都 市
京 都 市 交 通 局
東海旅客鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
JR西日本京都駅グループ
近畿日本鉄道株式会社

京都市，京都駅発着のすべての鉄道事業者，
駅ビル事業者が相互連携した避難誘導合同訓練！

京都駅での大規模災害に備えた避難誘導合同訓練の実施について

市内最大のターミナルである京都駅において，大規模災害に備えた避難誘導訓練を，昨年度に引き続き，京都市（消防局含む。）と鉄道事業者等（東海旅客鉄道（株），西日本旅客鉄道（株），近畿日本鉄道（株），京都市交通局，JR西日本京都駅グループ）及び京都府警察との合同で実施します。

これは，平成26年3月に京都市と東海旅客鉄道（株），JR西日本グループ6社及び近畿日本鉄道（株）が締結した「災害発生時における観光客等に対する施設利用等の協力に関する協定」を踏まえた訓練となります。

1 訓練の日時及び場所

(1) 日 時：平成27年9月26日（土）午前1時～ 2時間30分程度

(2) 場 所：京都駅JR新幹線，JR在来線，近鉄線及び市営地下鉄の各ホーム
八条口通路・北口広場・1階通路(近鉄)（緊急避難広場）
京都劇場前（一時滞在施設として使用）

2 参加団体（予定）

京都市，京都市交通局，東海旅客鉄道（株），西日本旅客鉄道（株），
JR西日本京都駅グループ，近畿日本鉄道（株），京都市消防局，
京都府警察（下京警察署，鉄道警察隊）

3 参加人数

約600名

4 訓練内容

訓練を4つのステージに分け、ステージごとに必要となる対応を行う。

	京都市	鉄道各社（市交通局含む）
第1ステージ	協定に基づく職員派遣 緊急避難広場の開設依頼	旅客への情報提供 運行停止の決定
第2ステージ	情報収集 一時滞在施設の開設依頼	旅客誘導(ホーム→一時滞留) 避難経路の確保
第3ステージ	帰宅困難者の振分等 情報提供(緊急避難広場)	旅客誘導 (一時滞留→緊急避難広場)
第4ステージ	情報提供 滞在施設紹介	帰宅困難者誘導 (緊急避難広場→一時滞在施設)

5 その他

詳細が決まり次第、別途お知らせします。

6 問い合わせ先

京 都 市

〔 行財政局防災危機管理室	075-212-6792 〕
〔 都市計画局まち再生・創造推進室	075-222-3503 〕
京都市交通局高速鉄道部運輸課	075-863-5223
東海旅客鉄道株式会社関西広報室	06-6375-9893
西日本旅客鉄道株式会社広報部	06-6375-8889
JR 西日本旅客鉄道株式会社	
近畿統括本部総務部（広報）	06-7668-7012
近畿日本鉄道株式会社秘書広報部	06-6775-3353